

第9期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和7年度年間評価）

基本目標3 住み慣れた地域における生活の継続支援

評価項目	年間 目標値	中間 実績値	年間 実績値	数値 達成度	事務局 総合評価
もーやっこサポート事業登録者数 (累積)	105人	104人	111人 (1月末)	◎	A
	R6 評価	97人	100人	◎	B
	目標値達成。居住支援の住宅管理者が当事業の利用を促進しており、利用者本人及び住宅管理者や家族等、周囲の安心に繋がっている。				
居住支援協議会を通じた住まいに関する相談件数におけるマッチング件数の割合	50%	54.5% 6件/11件	28.9% 13件/45件 (1月末)	△	C
	R6 評価	18% 4件/22件	38% 13件/34件	○	B
	目標値には未達。1月末時点で45件の相談があった。居住支援協議会を活用し、居住支援法人や基幹型地域包括支援センター、不動産業者等が連携しながら、住宅要配慮者に対し、住居の支援だけでなく生活面での支援を進めることができている。				

【数値達成度（対目標値）】

- ◎ 100%以上の達成度合
- 75%以上 100%未満の達成度合
- △ 50%以上 75%未満の達成度合
- × 50%未満の達成度合

【総合評価（目安）】

- A 優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた
- B 創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた
- C 課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である
- D 課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価

B

担当部署評価

もーやっこサポート事業登録者数について、利用者本人の生活を変えることなく、見守りができることを説明しながら利用促進を図るとともに、高齢者の集まる場等で直接周知する等、周知方法について検討していく。

居住支援については、居住支援法人を中心に、各支援機関と連携を取りながら、居住に限らない多角的な相談に対応した。一方で、居住支援法人と連携オーナーに頼った体制となっており、一般流通物件の流通促進のための施策の検討が必要である。今後、増えていく相談に対し、どのように対処していくかを検討していく。

評価委員会評価

もーやっこサポート事業登録者数について、数値達成度は「◎」であり、事務局総合評価は当初「B」であったが、登録者数が増加しているため、「A」とする。居住支援については、相談件数の母数が増えてしまうと、目標値達成が難しくなる。令和6年度と同件のマッチング件数であり、尽力している点は評価できる。